

令和2年度 第2回高島市総合教育会議 会議録

日時 令和3年2月25日(木)
開会 午前 9時30分
閉会 午前10時43分
場所 高島市役所 新館2階 教育委員会室
出席者 市長 福井 正明
教育長職務代理者
小多 偕裕
教育委員 三矢 艶子
田邊 栄美子
教育長 上原 重治

事務局

(市長部局)

政策部長 西川 彰
子ども未来部長 清水 真理子
市民生活部長 北村 英明

(教育委員会事務局)

教育総務部長 田谷 伸雄
教育指導部長 川島 浩之
教育総務部次長 饗庭 眞二
教育総務部次長 山本 純子
教育総務課長 加藤 勝己
文化財課長 松田 邦幸
市民スポーツ課長 竹井 正人
国民スポーツ大会開催準備室長 野崎 良樹
図書館長 玉木 健史
学校教育課長 村田 秀俊
学事施設課長 辻 信孝
学校給食課長 長瀬 千恵美
教育総務課参事 上原 真哉
教育総務課主任 森本 勇司

傍聴人 2名

加藤教育総務課長	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和2年度第2回高島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして福井市長からご挨拶を申し上げます。</p>
福井市長	<p>改めましておはようございます。</p> <p>司会からもありましたように、本日は第2回目となります総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>委員各位おかれましては、何かとお忙しい中ご出席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃からそれぞれのお立場で、高島市の子どもたちの学校教育でありますとか、社会教育の分野など、広範にわたりまして貴重なご意見やご提言をいただいていることに関しまして、改めて感謝申し上げる次第でございます。</p> <p>今日は、第2期の教育大綱の策定についてということが主な議題となっております。昨年11月に第1回の総合教育会議を開催させていただいて、様々なご意見を賜りまして、それを受ける形で原案として本日お手元にご提示させていただいております。この後、担当部局からそれぞれの分野の説明をさせていただきます。それを受けて最終的に原案としてこの場でお決めいただけたらと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>この機会に2点ほどご報告をさせていただきます。私も先の市長選挙で3期目をお預かりすることになりました。これまで2期8年に渡りまして、いろいろな市政改革を行ってまいりまして、そうした市政改革の継続、そして、とりわけ現在、コロナ禍の中で市内の経済なり市民の皆さまの不自由な生活が強いられているという状況の中で、引き続き市民の皆さまの安定した生活を維持するということ掲げて、おかげさまで3期目の付託を受けることとなりました。そういう中で、いくつかの政策の提案をさせていただいておりました。来週月曜日から高島市議会が開会・開催をされます。本来ですと、当初予算で新規の政策の提案を申し上げるところではありますが、選挙がございますと、次の市長の政策判断がございますので、まずは骨格予算ということで、義務的な経費を3月1日の開会でご提案をさせていただく。政策的な予算は、6月議会で追加の提案をさせていただくのが通例でございますけれども、そうしますと、新規の政策が、1年12カ月のうち3カ月空白が生まれてしまうということも懸念されますので、現在最終段階を迎えておりますが、政策予算につきましては、3月議会の開催中に追加で提案をさせていただきたいと考えております。その中で、子どもたちの子育て支援という観点から、選挙期間中に提案をさせていただきました各種の施策を最終的に政策予算として、最終調整をさせていただき、</p>

福井市長

3月議会中に追加で市議会のほうにご提案をさせていただく準備を現在進めているところであります。そういう中で、特に教育現場でいろいろ政策的に掲げてはいますけれども、その一つに、子どもたちの学校給食費の無償化も政策として掲げさせていただきました。施策としてやる以上は、一刻も早く政策を展開させていただきたいというふうに考えておりますので、そのあたりは市議会ともご相談申し上げながら、早ければ4月から事業として、給食の無償化も取り上げさせていただければと考えているところでございます。2期8年に渡りまして学校施設の改修、例えば、エアコン設置や大規模改修、トイレの改修等をやってまいりましたし、さらには子どもたちの医療費を中学校卒業まで完全無料化という施策もやらせていただきました。今回も引き続きそういう政策も展開させていただければと思います。そのことが県内でどこよりも子育てしやすいまちづくりの実現をさせていただければと考えておるところでもございます。

もう1点、昨日もニュースで伝えられていましたが、新型コロナウイルスに対する対策で、とりわけワクチン接種のタイミングであります。これまでから、3月中旬からは高齢者を対象にということからスタートしてございまして、それが4月1日以降ということになりまして、昨日の段階では、実質的には4月26日以降ということで、政府がご苦労いただいていることは十分承知はしておりますし、EUのほうで生産されておりますが、なかなか大量のワクチンの生産ということで時間を要していることと、EUのほうで輸出管理を厳しくしているということで、全各国の配分が非常に混迷を極めていることも十分理解できるわけでもあります。ただ、全国の自治体はその都度日程変更をして高島市でも個別接種と集団接種の併用でいくということで、4月の最初からスケジュールをおさえて、各接種会場もおさえてございまして、その前提で、明日午後から医師会の皆さんと協議をさせていただく段取りまでしているのですが、ここにきてそういう事態になりましたので、もう一度リセットをし直して、どういうスケジュールで、どの会場で、どういう体制で臨むのかということをして今日中に作り上げて、明日医師会の皆さんと協議をさせていただく、そして月曜日には市民病院とこのあたりの最終の詰めをさせていただく、そういう段取りをしています。とにかく日替わりメニューみたいなことで弾力的に臨機応変に対抗していかなければならないところでありますけれども、市としても市民の皆さんの安心した暮らしを支えるために、ワクチン接種については遺漏のないようにしっかりと対応させていただきたいと考えてございます。ただ、懸念されま

<p>福井市長</p>	<p>すのは、16歳以上ということになってございまして、16歳未満は今回の接種の対象にはなってございません。これはご案内のとおり、16歳未満の臨床試験のデータが極めて少ないということで、子どもたちの安全性の確認に、もうしばらく時間がかかるということでございますので、まずはそうした年齢の皆さまを対象にやらせていただきます。おそらく遅れる形で子どもたちのワクチン接種も始まってこようかと思っておりますので、そのあたりも教育委員会と連携しながら対応してまいり所存でございますので、ご理解賜りますようお願いを申し上げます。いろいろご苦勞いただきますが、市のこれからの5年間の教育の在り方を方向づけるという大綱でございますので、忌憚のないご意見賜りますようお願いを申し上げまして、開会にあたりましての私からのごあいさつとさせていただきます。</p> <p>お世話になりますどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>加藤教育総務課長</p>	<p>本日の出席者でございますが、市長・教育委員・教育長のほか、配布いたしました座席表のとおりでございます。皆さん、よろしくお願いいたします。ここからは、市長の進行により会議を進めさせていただきたいと思っております。福井市長よろしくお願いいたします。</p>
<p>福井市長</p>	<p>それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。先ほど申し上げましたように、昨年11月の総合教育会議でいただきましたご意見を踏まえまして、教育大綱の原案をお手元にお示しさせていただいておりますので、まずは教育大綱の説明を事務局からお願いいたします。</p>
<p>加藤教育総務課長</p>	<p>失礼いたします。教育総務課、課長の加藤と申します。</p> <p>私から、第2期高島市教育大綱案の概要等についてご説明いたしました後、基本目標達成のための施策方針につきましては、担当課よりご説明いたします。</p> <p>昨年11月24日に開催いたしました令和2年度第1回高島市総合教育会議におきまして、委員の皆さまからご意見いただきました内容を反映し、今回、第2期高島市教育大綱（案）をお示しさせていただきます。お配りしております、第2期高島市教育大綱案をご覧ください。</p> <p>まず、資料1ページをお開き下さい。1. 大綱の策定について、(1)策定の趣旨でございます。近年我が国が目指すべき未来の社会の姿として提唱されております、超スマート社会（Society 5.0）の実現を加味しつつ、現状の課題や今後の方向性を皆さまから頂いたご意見を反映した教育大綱となるよう、改定するものでございます。</p> <p>(2)位置付けについて、でございます。高島市の最上位計</p>

加藤教育総務課長

画であります、第2次高島市総合計画の基本構想の達成に向け、教育分野の基本目標達成のための施策方針を示すものとし、位置づけしております。

続きまして、資料2ページをお開き下さい。期間でございます。今回の第2期高島市教育大綱は、令和3年度から5年間の実施期間とし、目標年度を令和7年度としております。なお、社会情勢の変化などを踏まえ、必要の応じて見直しを行うものとしております。

3ページをご覧ください。体系図でございます。第1期の高島市教育大綱では、基本的方向性として3点挙げておりましたが、今回は基本方針とし、「市民一人ひとりが高い志をもち、生涯にわたって学び、学んだことを人々のため、社会のために役立てよう」と行動するひとを育てる『高島の志の教育』を推進することといたしました。一人ひとりが高い志をもつ事は、中江藤樹先生の立志を意味し、生涯にわたって学び、学んだことを人々のために、社会のために役立てることは、清水安三先生の学而事人の教えでもあります。高島市の郷土の先人の教えでもあります、知行合一を基本方針としております。基本目標といたしまして5つの目標を挙げております。目標1生きる力を育む学校教育の推進、目標2新しい地域づくりに向けた社会教育の推進、目標3地域ぐるみで育む青少年教育の推進、目標4地域の特性を踏まえた文化財の保護・継承および活用、目標5スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進の5つです。

なお、第1期の大綱では6つの重点目標としておりましたが、「教育環境の充実・向上」につきましては、ハード面、ソフト面それぞれの環境整備もあることあら、各々の分野に組み込むこととしまして、今期の大綱では5つの基本目標としております。また、第1期の大綱では、「重点目標」と表現しておりましたが、「基本目標」と変更しております。5ページ以降の6基本目標達成のための施策方針につきましては、担当課より説明いたします。

村田学校教育課長

失礼します。学校教育課の村田でございます。基本方針の目標1生きる力を育む学校教育の推進のための施策方針についてご説明させていただきます。まず、生きる力とは、変化の激しい、これからの社会を生きる子どもたちに身に付けさせたい確かな学力、豊かな人間性、健康と体力の3つの要素からなる力であります。この3つの力を高島の子どもたちにどのように育成していくのか、それを12個の施策にまとめさせていただいたものでございます。

まず、本市学校教育の柱であります、つながり響き合う教育の実現のための、縦をつなぐ小中一貫教育、横をつな

ぐ地域とともにある学校づくり、そして、未来につなぐキャリア教育ご説明いたします。

まず、①の小中一貫教育でございますが、幼児教育や高校教育との連続性を重視し、系統的・継続的な学習指導や生徒指導に取り組みます。確かな学力を育むために、一人一台端末の効果的な活用による学び方の改革や、少人数指導によるきめ細かな指導に取り組みます。また、個別最適な学習と協働的な学習において、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し行動する、そして、よりよく問題解決する資質や能力を育成してまいりたいと考えております。

つづきまして、⑨の横をつなぐ地域とともにある学校づくりですが、各校の学校運営協議会におきまして学校教育目標を共有し、地域と一体となって子どもたちの豊かな成長を育む体制を強化してまいります。ここに掲げております、施策の実現には、地域の方々との協働によるところが大変多くございます。スタートしてから3年間で、大変素晴らしい成果をあげているところでございますが、持続的な取り組みに、そして、さらに発展させられるよう、工夫してまいりたいと考えております。

つづきまして、④の未来につなぐキャリア教育について、でございますが、学校での学びを働くことや生きることに関連付けるために、授業の中にキャリア教育の視点を意識させる取り組みを進めてまいりたいと考えております。そして、将来の生き方につなげられるように、小中高校をつなぐ、系統的なキャリア教育に取り組んでまいりたいと考えております。

⑤⑥について、でございますが、外国語によるコミュニケーション能力を育成し、グローバルな視点で活躍できる人材、また、地域の自然や文化遺産を教育に生かすことで、地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人材の育成してまいります。Think Globally Act Locallyという言葉がありますが、子どもたちが、外国語教育を通し、広い視野で学び、考え、そして、地域で活動する。身近な社会、身近なフィールドを大切にす人材の育成を目指してまいります。

続いて、⑦についてです。高島市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組みます。そして、先日結審いたしました、いじめ裁判から学んだ多くのことを教訓にしていかなければならないと考えているところでございます。

⑧の安全教育におきましては、子どもたち自らが、命を守る力を身に付ける力を身に付ける。そして、⑩に掲げておりますとおり、体力の向上や心身の健全な発達の基礎と

<p>村田学校教育課長</p>	<p>なる力を培ってまいります。そのためにも、学校給食を中心とした食育にもしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。そして、子どもたちの学びや成長にとって望ましい、安全で快適な環境づくりについても、計画的に取り組んでいかなければならないと考えておるところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>饗庭教育総務部次長</p>	<p>失礼いたします。社会教育課の饗庭でございます。</p> <p>6ページをご覧いただきたいと思っております。目標2の新しい地域づくりに向けた社会教育の推進の施策方針についてご説明申し上げます。</p> <p>「①生涯学習を通して、地域の人材育成を推進し、その学びが地域づくりに生かせるよう、関係機関と連携して取り組めます。」でございます。人口減少に伴いまして、生涯学習に関わる担い手をはじめ、地域を支える様々な分野において担い手が不足している状況でございます。こうした中、住民自治協議会の設立の動きなど、それぞれのコミュニティでまかないきれない部分を地域全体で支える仕組みがスタートしたところでございます。生涯学習は、知るための学びだけではなく、実践のための学びが大変重要だと考えております。そのため、実践となるよう地域づくりや、活かせる場を見据えながら、関係機関と連携し、検討しながら取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>「②学校教育と社会教育の協働と、さらなる社会教育関係団体等との連携により、子どもの学びと育ちを支え、学校を核とした地域づくりを進めます。」でございます。学校教育サイドでは、コミュニティスクールとして地域とともにある学校づくりが進められているところでございます。将来的には、学校協働活動と一体となって取り組むことを目指しつつ、学校を核とした地域づくりの基礎をしっかりと築いてまいりたいと考えております。</p> <p>「③家庭が子どもの生きる力の基礎を育む場となるよう、講座や研修会を市の関係部局と連携・協働して開催し、教育力の向上に取り組めます。」、「④公民館、図書館等の社会教育施設を拠点に、市の関係部局や社会教育関係団体と連携しながら、市民の学ぶ機会の提供と地域課題の解決に向けた取り組みを促進します。」でございます。本来公民館は、公的な教育を推進する場として、個人の趣味・関心を高める学びと、社会が求める学びのバランスが大変だと考えております。今後は、このバランスをしっかりと見極めて、名実ともに地域の拠点といわれるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>「⑤「差別のない 住みよいまち 高島市」をめざし、</p>

<p>饗庭教育総務部次長</p>	<p>市民の人権感覚を高めるため、学校・家庭・地域の連携により人権教育を推進します。」、「⑥優れた文化や芸術に触れる機会を提供するとともに、市民の参画と協働により文化活動の発表の場を拡げ、文化の振興を促進します。」</p> <p>続きまして、目標3の地域ぐるみで育む青少年教育の推進でございます。</p> <p>「①自然や文化遺産等の地域資源を活用して、子どもの豊かな学びと成長を支援します。」でございます。子どもが減少する中で、個人の教育的ニーズが多様化し、青少年活動の参加者の減少や固定化が進んでいる状況でございますが、学校の授業だけでは学べない認知機能を高める学びについて、地域資源を活用しながら引き続き提供していきたいと考えております。</p> <p>続きまして、「②地域で主体的に活動している青少年団体の活性化に向けて取り組みます。」、「③青少年の健全育成や被害防止のため、青少年関係団体と連携・協働して地域の子どものを守り育てる体制の充実を図ります。」</p> <p>以上でございます。</p>
<p>松田文化財課長</p>	<p>失礼いたします。文化財課松田でございます。</p> <p>7ページをご覧ください。目標4の地域の特性を踏まえた文化財の保存・継承および活用についてご説明させていただきます。</p> <p>基本方針達成のための施策方針を3つ設定させていただいております。「①としまして、市民の財産である文化財の状況把握と調査を進め、歴史的な価値を明らかにするとともに、適切な保存管理を図ります。②としまして、文化財の適正な保護措置を図りながら、関係部局、団体、市民等との連携を通して次世代へ着実に継承できる仕組みづくりを促進します。③としまして、市内の文化財の存在や価値等を広く情報発信するとともに、多くの市民に地域の誇りである文化財を学び、認識してもらえぬ取り組みを進めます。」でございます。</p> <p>文化財としましては、保存と活用が重要でございます。今年度、文化財保存活用地域計画を策定中でございます。その中では、適切な保存・活用により関係者の意識を高め、協力者の裾野を広げまして、保存・活用に必要な修繕資金援助や物資等の調達までもできるような仕組みづくりができたかと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>竹井市民スポーツ課長</p>	<p>失礼いたします。市民スポーツ課の竹井でございます。</p> <p>それでは、目標5のスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進について、ご説明申し上げます。</p>

竹井市民スポーツ課長	<p>ここでは、だれもが・いつでも・気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の創造を目的として、次の①から⑤までの施策方針を掲げています。</p> <p>①については、生涯を通じて心身ともに健やかに過ごすためには、適度な運動は必要不可欠であり、日常生活の中で自主的に習慣的に運動を取り入れるなどの健康スポーツの推進の観点から、運動機会の提供やスポーツに親しむきっかけづくりとなる情報発信を通じて、誰もが気軽に親しめる健康スポーツの推進を図ろうとするものでございます。</p> <p>②につきましては、2025年の国スポ・障スポに向けまして、スポーツ協会を中心に各種競技スポーツの水準向上を図るとともに、スポーツ少年団、学校部活動、スポーツクラブとの連携を図り、子どもから大人まで一貫した競技者の育成環境の整備など競技スポーツの推進の観点から、滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会にあたり、一般社団法人高島市スポーツ協会の体制強化を支援するとともに、各スポーツ団体と連携して開催に向けた環境づくりを進めようとするものでございます。</p> <p>③につきましては、スポーツを支える活動を通じて、スポーツを楽しむ方を増やすなど地域に根付いたスポーツボランティアの育成の観点から、スポーツボランティア登録制度を充実し、スポーツ参画人口の拡大を図ろうとするものでございます。</p> <p>④につきましては、大規模なスポーツイベントの開催や開催を支援することで、参加者と市民との交流による地域の活性化や市民が参加したくなるような魅力的なスポーツシーンの創出などスポーツイベントの振興の観点から、スポーツイベントの開催や、民間のスポーツツーリズム等を誘致し、参加者と市民との交流を深め、地域活性化を図ろうとするものでございます。</p> <p>⑤につきましては、スポーツ活動の拠点であるスポーツ施設などの計画的な改修や維持補修と整備を図り、誰もが安心・安全にスポーツを実施できる環境づくりを推進するスポーツ施設の整備の観点から、市民が安心してスポーツに親しめるよう、施設の効果的・効率的な維持管理を図り、安全にスポーツができる環境づくりを進めようとするものでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
福井市長	<p>ありがとうございます。5つの基本目標を定めて、それぞれの目標ごとに具体的な施策の方向性を整理し、説明をいただいたところでございますが、この内容につきまして、</p>

福井市長

ご意見がございましたらお願いいたします。

私のほうから1点、基本目標が5つありますが、基本目標1の学校教育の推進が12項目あって、基本目標3と4の青少年教育や文化財の保存・継承というところが施策としては3項目というところで、どうしても学校教育の項目が多くなってしまったのかと思って聞いていました。例えば、目標1の「⑥高島の豊かな自然や文化遺産を生かした特色ある教育活動を推進し、地域に愛着をもち、地域に貢献しようとするひとを育てます。」と目標3の「①自然や文化遺産等の地域資源を活用して、子どもの豊かな学びと成長を支援します。」が同じ意味だと思いました。学校教育の分野も青少年教育の分野も、それぞれに同様の個別施策が上がっていて、重複しているのかと。両方にあっても特段問題ないと思いますが、少し整理が必要かと思います。これは余談ですが、委員の皆さまからご意見を賜ればと思いますのでどうぞよろしく申し上げます。

三矢委員

失礼します。今日は映像がなかったので寂しかったです。映像ってみんなで共通理解するのに大変有効な手段だなと改めて感じました。

私のほうからは、目標1、それから目標2に関して発言させていただこうと思います。教育によって人が育って、目標2にありますように地域が育っていく、その元気な地域が元気な学校をつくっていくというような好循環を狙って、コミュニティスクールや地域学校協働活動の両輪で進めていこうというような教育施策の中で、これって新しいようで古くて、10年くらい前に「生涯学習」という言葉が出てきた時から地域教育力ということで、いろんなところで取り組まれてきた内容です。全然新しくないですけども、本来そういったコミュニティスクールなど仕組みを作ることによって、推進委員さんやコーディネーターさんがやりっぱなしではなく、双方向に「ありがとう。やってよかったな」という思いを届けてくださったおかげで、今までたくさんの方が支援してきたこと、それから社会教育団体をはじめいろんな団体と連携してやってきたこと、この支援と連携については、それぞれ新しい意味付けをしてくださって、大変よく進んでいると思います。どこの学校・どの地域においても、いろんな活動でたくさんの地域の人たちが学校に入り、あるいは、子どもたちに声をかけ、言葉のシャワーをいっぱいかけてきた。そういう取り組みで、ずいぶん学校の中も変わったなというふうに思っております。次なるステップは、コロナ禍もあり地域のいろんな課題が急速に進んでいますが、どんなことがあっても、どんな災害が起こっても、どんな社会になっても、地

域をつくっていくのは私たちですので、何が起ってもへこたれない気力や高島の自然や文化を愛し、高島を誇り語れるような大人や子どもが育つような教育を目指そうということで、「協働」が課題だと思います。学校や地域の中に子どもも大人も、障害があってもなくても、不登校であっても、いろんなところでいろんな人が共に学んで、そして、ともに楽しんで育つような場を、学校のみならず地域のどこに作っていくのがこれからの課題かなと思って聞かせていただきました。これは、新しく大変だなということではなくて、例えば、青少年活動のところで、子どもフェスティバルという大きなイベントで、いろんな団体の大人や子どもたちが集って、1,000から2,000人規模の大きなフェスティバルをやっておられますけれども、そういう大人も子どもも集うような。文化関係だと、市民劇だとか、市民コンサートなど、みんなで集って文化を創り出す活動とか、いろんなところでキャリア教育など特色ある事業をそれぞれ評価して、どこがどういうふうに進んでいったのかを再度見直し、さらにバージョンアップしていく。学校だけではなく、地域の中で学びをつくっていくことが大事かと思います。

もう一つ、枠を超えての協働ですけれども、私は最近福祉推進委員を仰せつかって、コロナ禍で今まで通りの活動はできなかつたのですけれどもいろいろする中で、区長さんから「高島お役立ち情報」という冊子が届いたので使ってもらえればといただいたのですが、今までそういう冊子は、居場所や配食など、こういうふうな支援がありますよというご紹介の電話番号が書いてあったりしましたので、そのような冊子だと思いながら拝見したら、後ろのほうにボランティアのコーナーがあって、そのフレーズが「学校というボランティアの場所、あなたの経験を地域の子もたちへ」という素晴らしいキャッチコピーと一緒に地域学校協働活動が紹介してくださっていました。これだと思ったのは、学校だけにしがみついているのではなく、いろんな分野でこういう活動ができるとご紹介していただいていることが良かったと思っていますし、枠を超えた協働というか、学校を離れて地域で学びをつくっていくという活動が、その中で地域の困りごと、それから課題解決に向けて何が大事かということ、大人が子供と一緒に活動して、その大人の姿を子どもに見せていくことが大事じゃないかなと思います。どんな活動であっても、この前の成人式でもコロナ禍の中、患者数が非常に増えてきて、危機的な状況の中で高島市の成人式は行われました。青年たちと一緒に検討し、止めるという選択もあったと思いますが、その過程が大事で、たぶん今まで以上にいろんな打合せや会議をし

<p>三矢委員</p>	<p>てこられたと思います。その大人の姿を見せていくことが教育ではないかなと思いました。今までのコミュニティスクールはイベントがあるなど、何かあるときに「保護者の方に集まってください。学校が説明しますから」と楽しい時しか学校へは足を運ばないのですけれども、普通の時に学校へ集まろうというのがコミュニティスクールだからできることなんです。この前も学年で参観をして、そのあと、「お話しがある方は残っていただいて結構ですよ。今日は相談員の方がみえてますから。」ということで、子ども未来部のあすくるの関係ですとか、福祉の関係とか、地域から何人か、そういうなんでもないときに課をまたいで相談できることは、コミュニティスクールの強みであり、地域学校協働活動の強みであると思います。そういうところを生かしながら、教育委員会だけでなくいろんな部局でそういう活動が広がっていければなと思います。</p>
<p>福井市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>三矢委員からは、広範囲にわたりご意見を賜りました。特に内容的にというよりも、委員ご自身のお考えを聞かせていただいたところでありますけれども、確かに地域学校協働活動の取り組みをしてかれこれ3年くらいになります。実質ボランティアでやっていただいて、地域と学校の距離が少しでも縮まればという思いでやらせていただいて、地域の皆さまのご尽力、ご協力によって効果は着実に生まれ繋がってきているかと受け止めさせていただいているところであります。今のご意見に関して、教育総務部次長から先ほど説明がありましたので、受け止め方なりを仰っていただければと思います。また、次の総合教育会議の時には、できるだけ画面を見ながら、現場の写真も使っていただきたいと思います。今日は大綱の意見交換ですので、ご了解いただければと思います。次からはできるだけバラエティーに富んだ現場の写真などを活用してもらうようにいたしますので。</p>
<p>饗庭教育総務部次長</p>	<p>三矢委員からは、地域学校協働活動を学校の取り組みだけではなく、地域に広げてはというようなご意見だったと思っております。地域学校協働活動は平成30年からスタートしまして、かれこれ3年経っている状況でございます。今般、湖西中学校の取り組みが評価されまして、文部科学大臣表彰を本日午後からリモートでいただく予定をしております。本来ですと、公民館等がひとつづくりの場とならなければならないところではございますが、今は学校を中心としてボランティアの皆さまがお集まりいただき、活動をされている中で、ひとつづくりが進められているとこ</p>

<p>饗庭教育総務部次長</p>	<p>ろでございます。そうしたひとつづくりが、それぞれのコミュニティであったり、様々な分野の活動に波及することに期待をしているところでございます。そのためにも学校を核とした地域づくりの基礎をきっちり固めてまいり、その輪を様々な活動に広げられるよう推進してまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>福井市長</p>	<p>ありがとうございます。三矢委員のほうからは、キャリア教育の重要性ということもご発言いただきましたけれども、小中でのキャリア教育だけでなく、市では高校にも足を運ばせていただいて、市内の事業者にも参画いただいて、キャリア教育をさせていただいております。市民生活部でその状況説明をお願いします。</p>
<p>北村市民生活部長</p>	<p>今後のキャリア教育に関しましては、代表的なものとしたしまして、ワークライフストーリーエキスポというものを毎年開催させていただいております。それがどういう事業かといいますと、高島の魅力などを子どもたちに考えていただきまして、自らのキャリアデザインを考える機会としたいということで、高島で活躍する方や事業所のお話を聞いていただいて、ディスカッションをさせていただきます。それによって、高島のことについて再度考えていただくような事業をさせていただいております。それ以外にも、高校に入って授業のサポートなど、地域と学校を結ぶ取り組みを行っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>福井市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>余談ですけれども、今年のコロナ禍の中での成人行事を実施するのは、正直、ずいぶんためらいました。県内でも延期を判断された自治体もございまして、年末年始の爆発的な感染拡大の中で実施するのかどうか思案しましたけれども、最終的に実施をさせていただきました。当然、感染対策や防止対策が十分関係部局のほうで苦労いただて、準備をいただいたところでもありますけれども、毎年成人行事の時の式辞で今年は何を言おうかなと悩みまして、今年にはコロナ禍ですので、その話をぬきにしてはいけないと思い、その中で成人式を挙行させていただいた思いと、高島市民病院が第2種感染症の指定病院という指定を受けていますので、県内で多くの方が感染されたその時点でも、市外の方が入院治療をされておりまして、市民病院の医師あるいは看護師が24時間体制で治療に専念していただいております。看護師の中には家に帰らないというご自身の判</p>

福井市長

断をされて、病院で寝泊まりをされたりするなど、あえて家族のもとに帰らない看護師さんも複数いらっしゃるという話をさせていただいて、そこで新成人に「なぜだと思いますか」というようなことを振ってみました。みんなシーンと聞いてくれていたのですが、これは万が一大切な家族に自分が感染をしてしまっとうつすと大変なことになるので、家に帰りたくても、疲れていても帰れない、そういう仕事をされている。その思いは人の命を大切に、健康をお支えするというそういう崇高な仕事に対する信念をお持ちいただいて、日々苦勞いただいている。だから皆さんは自分の命と健康は大切に。みたいな話をしていたら、3会場を順番に行きましたが、大体同じフレーズで話をさせていただいたら、みんなシーンとなって聞いていました。その時に思ったのは、成人式をやってよかったなというふうに思いました。私にとっては子どもたちみたいな年齢にはなるのですが、みんなまじめで、誠実でしっかり育ててきているのだと思いました。そのあとの会食は絶対しないでくださいと念を押しておいたのですけれども、おかげさまでその後は大丈夫だったみたいです。聞いていますとあらかじめ友達同士と集まって騒ごうみたいな話もあったようですけれども、くぎを刺しましたら、会食もなかったということでした。ほかの子どもたちがどうこうではありませんが、やっぱり高島の子どもたちはみんな素直に育てているなど成人式の時に特にそういう印象がありました。本当にシーンとした会場で聞いてくれていました。少し余談ですけれど。ほかに何かございますか。

田邊委員

5年間の施策ということで資料をいただいているのですが、それぞれに読んで、こういうふうに進んでいけばいいかなということを書きさせていたこうと思います。まず、目標1に対しては、資料にたくさん書かれていて、教育は大変なことだとよくわかるんですけども、低学年において事業内容とかを子どもが理解することは、これから中学高校に進んでいくうえでとても大切なことだと思うので、当然考えられてはいると思うのですが、もっとコーディネーターの方とかもいらっしゃったりで、大変努力していただいているのですけれども、もっとアフタースクールのような活動ができないかなと思っています。大学の一芸入試とか推薦入試とかいう制度があるのでしたら、安曇川高校の受験数が少なくなったりというのがあるのですが、それが気になっていて、公立高校の入試においても大学と同じような形で進んでいけば、もっと変化に富んだカリキュラムとかが組める可能性があるんじゃないかなと思ったりもしました。今から可能にしようとするのは大変なこと

かと思うのですが、そういうふうにはできたらいいなと思います。

あとは、新しい地域づくりということですが、先ほど説明された中に、今の地域の組織で地域コミュニティっていうのはだいぶ行き詰ってきているのではないかなと思っています。確かにここに書かれているように新しい地域づくりっていうことで前に進もうとしていることはすごく大切なことだと思うのですが、この基本方針で、過去4年間で行った事業とか、過去のことを振り返ってみて、一つでも持続可能な目標や活動の仕組みを洗い出して、再度挑戦してみるのも一つの手かなと思います。あと、「地域ぐるみで」とあるのですが、働き方改革とかで時間に余裕のある大人の方が増えてきていると思うのです。ただ、その方たちは高島市の教育だとかに対してどこでどんな風に関わったらいいいのかを知らないという人が多いと思うので、余裕のある人たちの力を借りるということで、もっと広報などの方法がないかなと思いました。

文化財の保護っていうのは、私は文化財の関係はすごく苦手で、高島市のホームページにも出ているのですが、先ほど言われたように資金援助の取り組みとかも必要になってくるというふうに言われていましたので、今の学校や行政等以外に、もっと企業とかにも情報発信していけば、いろんな高島市の文化財の保護とか活用とかにも役立っていただけるのではないかなと思いました。

あと、スポーツの推進というところで、スポーツボランティアを挙げていただいています。高島市でも高齢化は進んでいます、その人たちの中には体を動かすことが好きな方もいらっしゃいます。ただ、今現在どこでどのようなスポーツがどの時間でしているかの情報が市民の人に伝わっていない部分がたくさんあるかなと思います。先ほどの市長のお話にもありましたが、全体的に子どもたちは良い環境で育っていると思います。いろんなところでいろんな人を見ていると、大変失礼な言い方かもしれませんが、ルールを守っていないのは、高齢者がすごく多いです。今のコロナ禍でいろんなところに出向かれていますけれども、ソーシャルディスタンスでと言っても、それを守っていただけないのは高齢者の方が多いのかと思います。その中で一生懸命子育てをしてくれている30代の方とかは意識が高いのか、しっかりルールを守っておられるということが今回すごく目につきました。そういう方たちが子育てをしてくれていることはすごく頼もしいなと思う反面、高齢者の方がこれから子どもや孫とかにこういうふうに進んでほしいという正しい道を示していただく方たちがもっと教育などに携わっていただくと、高島市のすべて

田邊委員	<p>の方の人格というか人間性がアップしていくのではないかなとこれを見ながら主人とともに話し合っていました。</p> <p>以上です。</p>
福井市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>各目標の項目ごとに様々なご意見ご提言をいただいたのですけれども、ご説明いただいたそれぞれの担当課なり部で田邊委員のご意見に対して何かあればお願いします。</p> <p>例えば、一つ目の低学年の習熟度とかそういうところをさらに引き上げていくための市民ボランティアの活用や後半でもボランティアの活用についてもう少し広報をというところがありました。実際教育現場に市民協働や地域学校協働でいろんな方がボランティアで入っていただいております。また、必要な支援員も配置させていただいているという中で、さらに市民の皆さまのボランティアを募ってやっていくということについて、どうでしょうか。</p>
村田学校教育課長	<p>失礼いたします。実際に授業の中で、地域の方にアドバイスをいただいているような活動については、例えば、実技で技能が必要なミシンであったり、糸鋸を使ったりなどの技能面でのサポートをしていただいています。国語や算数の授業の中でのボランティアというところまでは進んでいないところです。どのような方法が良いかということについても探してみたいと考えております。園との連携になります。小学校入学までにつけておきたい10の力というようなスタートプログラムがありまして、そういったことも小学校と園との連携の中で、身につけていきたい力のためにどのような保育や活動が必要なのかを一緒に考えていく機会をもっていかなければならないかと思っております。以上でございます。</p>
福井市長	<p>目標4、目標5のところ、文化財なりスポーツボランティアという項目で、それぞれ市として主体的に取り組む姿勢が示されているということで、文化財の保存のところに企業への情報提供をしたらどうかや、スポーツボランティアでももう少しボランティアを募集するといいますか、登録制度を充実するというようなことではなしに、情報を提供しないと、ボランティアは参加しようという意思があってもなかなか参加する手段がわかりにくいというご意見もありましたので、そのあたりは事務局のほうと相談させていただいて、情報発信をしていくという項目についてそれぞれのところに書き込めるように字句修正させていただきます。文化財と市民スポーツ課のほうでこのあたりの字句修正をお願いします。ほかにどうぞ。</p>

小多委員

今回の第2期目の大綱については第1期をほぼ踏襲していただいていることですが、目標2のところ、先ほども話が出てましたが、明るい地域づくりに向けた社会教育の推進ということですが、少子高齢化の中の高島ということで、住民自治協議会の設立委員会で今取り組みがなされています。そういう中で、社会教育関係の方をもっと含めて取り組みをしていく必要があるのではないかなというふうに思います。その中で、各団体の中から代表で住民自治協議会の設立準備ということで取り組みはしてもらっているんですが、もう一つ、社会教育的な面でのところがあまり見えないというのか、今6地域それぞれが取り組みをしている中で、高齢化対策というかたちが主体的になってきていて、地域全体での盛り上がりというか、その辺が今一つ不足しているのではないかなと。学校、子どもたちについても、地域全体で見守って行って、大人から子どもまで全体が子どもを育てるとというのが地域での子どもの生活力、生きる力を育むという意味からも、家庭、家族を応援するという取り組みの中でもやはり地域がまず一つになって取り組むというのが必要になってくるかなと、そう思うと、社会教育的な部分がこの第2期の目標の中で大きなウエイトを占めてくるのかなと思いますので、その辺を十分留意していただいて、推進していただきたいなと思っています。住民自治協議会の準備会の中でも、それぞれ取り組まれています、地域によってばらつきがあるというか、地域の特色を活かした取り組みをされると思いますが、社会教育的に考えたときに市全体としてどういう取り組みをされるのか、その辺りが今一つ掴み切れないのかなと思いますので、内容を見ていると前回とほとんど変わらない状況の中で、今までの取り組みから考えて新しい地域づくりに向けた構想というのか、その辺りをもう一度ご確認いただくとありがたいのかなと思います。具体的なことではなく抽象的なことにはなりますが、よろしく願います。

福井市長

今ご発言いただいた問題は、年内、早ければ今年の10月頃に、市内の中学校区単位、いわゆる旧町村単位になりますけれども、住民自治協議会の設立をさせていただいて、地域課題をそこでご議論いただいて、協働という精神といいますか、地域のことは地域でというふうな思いと、地域課題で皆さんが情報共有していただいて、そして地域の中で一定必要な対策を講じていただく、将来の自治の在り方を方向づけるような協議会をこの秋にも設置をさせていただきたいと考えております。貴重なご意見をいただきまして、確かに社会教育分野からもそこに入っていた

くと、まさにその社会教育なり、場合によっては学校教育の在り方、さらには地域学校協働活動にも繋がるものというふうにも考えられますので、そこは市民生活部の方でもう一度各支所と協議をしていただきまして、議論検討いただくということで。

終了予定が10時半ということで、時間がもう過ぎてしまっているのですが、貴重なご意見をいただきまして、最終的に先程の情報提供をしていく、あるいは情報発信をしていくというところを少し書き加えさせていただくということで確認をしておきます。

あとは教育長の方から時間が少しだけですが、簡潔にお願いします。

上原教育長

3点ほど言おうと思っていたのですが、まず1点目のコミュニティスクールないしは地域学校協働活動について、先ほど三矢委員がお話になりましたが、まさしくこれはボランティアの気持ちで学校を支えていただき、また、それで地域づくりに活かしていただくということですので、これは現在の高島市の強みであると思えますし、引き続き、続けていく不易の部分であると思えますので、これをこの5年間の教育の中でしっかり位置付けて進めていく必要があるなと思っています。

もう1点、社会教育の部分についてですが、まず、学校教育については一人一台のタブレット端末、予算をつけていただきまして整備できる段階になっています。これによって、個別最適な学びというのが学校で実現されていくわけですが、学校を卒業した後の社会教育においてもやはり学校での学びを活かしていただいて、市民一人ひとりが意図的で計画的な学びができるようなシステムを今後構築していく必要があるなとも私も思っています。

3点目ですが、令和7年に国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会がございまして、着実に準備を進めていくということは当然のことではありますが、これを契機に小中学生から高齢者までの生涯スポーツについても各関係団体と話し合いながら盛んになるように取り組んでいく必要があるなというふうに考えております。以上です。

福井市長

ありがとうございます。最後に総括をしていただきました。長時間に渡りまして貴重なご意見あるいはご提言をいただきました。繰り返しになりますが、今回、令和3年からの5年間の高島市の教育大綱ということで、これまでの第1期の教育大綱からは、若干修正もさせていただいたところではありますけれども、基本的にこの基本方針なり基本目標なり、あるいは各種の施策についてはこのようなこ

とでよろしいでしょうか。字句の修正につきましては、ご意見いただきました内容を踏まえまして若干の修正はさせていただきたいというふうに思っております。あと、これを策定しますと、議会への報告が？

上原教育長

はい。新年度になってから。

福井市長

それでは、前回、今回と2回に渡りまして今後5年間の高島市の教育の方向性を示す教育大綱策定に必要なご意見、ご提言をいただきまして本当に改めて感謝を申し上げます。

この教育大綱案をもって、事務局の方で若干の字句修正をさせていただくことをご了承いただきまして、この教育大綱の策定に向けて進めさせていただきます。ありがとうございました。

(総合教育会議終了 午前10時43分)